

経営比較分析表（令和3年度決算）

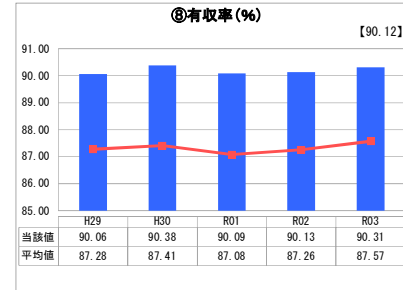
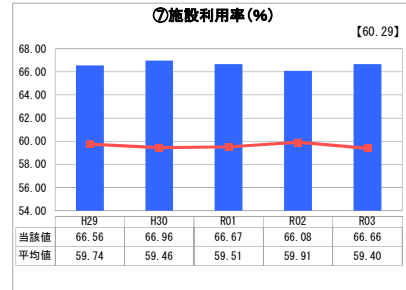
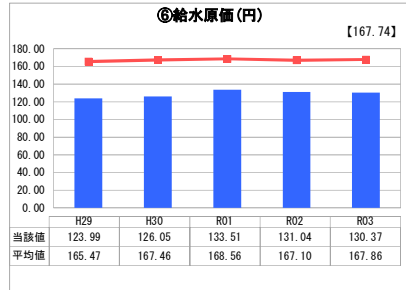
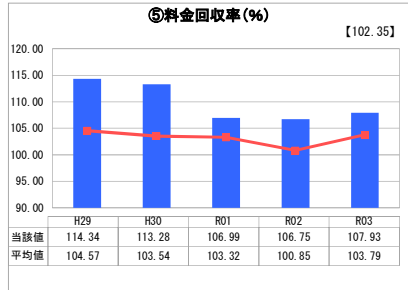
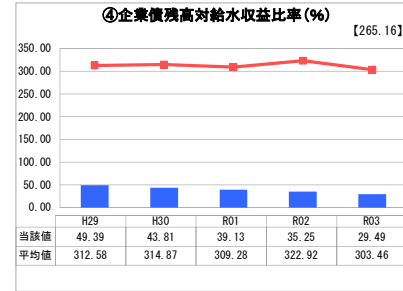
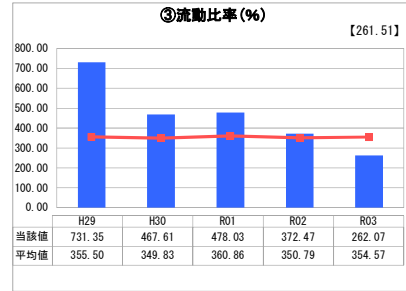
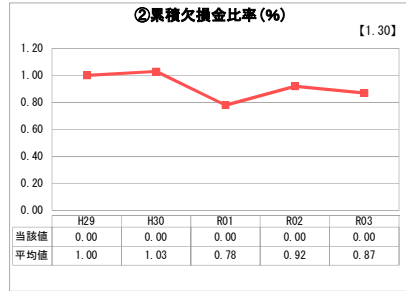
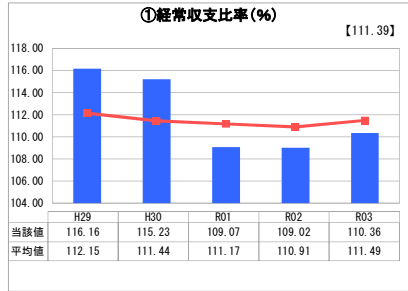
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	92.57	99.95	1,925	

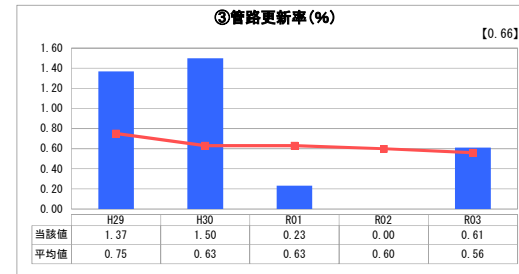
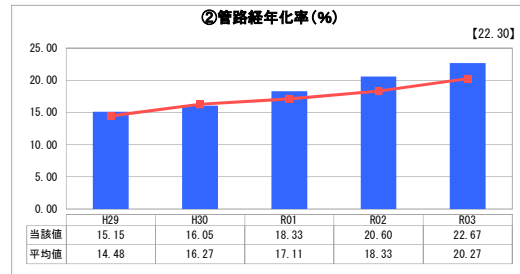
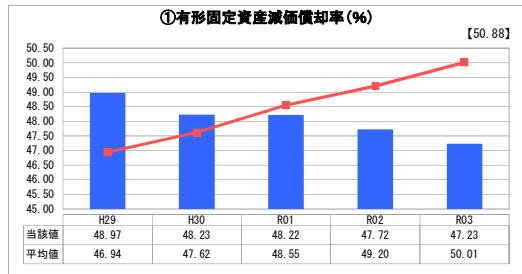
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
90,385	65.35	1,383.09
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
90,343	65.69	1,375.29

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%を上回っており、新型コロナウイルスの影響が小さくなり給水収益が増加した結果、前年度と比較し増加した。ただし類似団体平均を下回っているため、今後も収支の動向を注視しつつ、100%を維持出来るよう努める。

②累積欠損金比率
該当なし

③流動比率
100%を上回っているが、流動資産のうち現金については引き続き減少している。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体の平均値を下回っており、企業債に頼らず事業を行っている。

⑤料金回収率
給水に係る費用が給水収益で賄えており、類似団体の平均値を上回っている。

⑥給水原価
類似団体の平均値を下回っており、安い原価で給水を行っていることを示している。

⑦施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。将来的には人口減少による一日平均配水量が減少することが見込まれるため、適切な施設規模に注視していく。

⑧有収率
類似団体及び全国平均値を上回っている。継続して実施している老朽管更新に因ると考える。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
管路・施設の更新により類似団体の平均値を下回っている。

②管路経年化率
類似団体の平均値を上回っており、加えて平成29年度以降増加傾向であるため、経営状態を勘案しつつ引き続き管路更新に努める。

③管路更新率
類似団体を上回っているが、今後も更新計画に基づき幹管路を含む老朽管更新を実施する。

全体総括

経営の健全性・効率性の分析から、水道事業は適正な運営を維持していると判断できる。当該年度は、令和元年東日本台風の復旧に係る費用や新型コロナウイルス感染症による給水収益への影響が令和元年度と令和2年度と比較し小さくなり、受水費の減や給水収益の増により、経常収支比率や料金回収率が増加した。

ただし流動比率は平成30年度以降大きく減少し、資金の減少がみられるため、委託料、修繕費及び動力費等の維持管理費や減価償却費等の推移を注視しつつ、水道ビジョンで提示している水道料金の将来的な改定を検討していく。

老朽化の状況から分かるように水道施設や管路が老朽化しているため、今後も更新計画に基づき幹管路を含む老朽管更新を予定している。